

八尾市子ども計画の基本理念と基本的な視点

1. 基本理念

本市では、すべての人の人権が尊重され、互いに他者を思いやり、支え合う気持ちと、共生の心があふれるまちづくりを進めています。

このことを踏まえ、未来に無限の夢をもった次代の社会を担う子どもが、安心していきいきと育つことができ、また親も八尾市で子どもを生み、育てて良かった、八尾市に住んで良かったと実感できるまちになることをめざします。

「みんなで作る子どもの未来と幸せ」

すべての子どもの人権が尊重されていきいきと育ち、子どもの生きる力を育てる学校・地域づくり

すべての子どもが一人の人間として尊重されるとともに、他者を尊重しながら、いきいきと育つことができるまちをめざします。また、学校や地域のなかで、一人ひとりの子どもが、豊かな人間性や社会性を身につけ、自ら考える力、主体的に活動する力等、子ども自身の「生きる力」を身につけられるようなまちをめざします。

子どもを生み、子育てするすべての家庭が、安全で安心して暮らせるしくみづくり

子どもを生み、子育てするすべての家庭が楽しく、喜びと誇りをもって子育てができる安全で安心なまちをめざします。

親と地域がつながり、子どもが主体的に地域にかかわり、子どもとともに親も育っていけるように地域が子育てを支援するしくみづくり

子どもが地域の一員として積極的に地域の人とかかわり、主体的に地域活動に参加できるしくみを地域の人と協働で作ります。また、「子どもを見守り支える」をキーワードに、地域のつながりを深め、子どもと一緒に親も育っていけるよう、地域全体で支えていく地域社会をめざします。

2. 基本的な視点

計画策定にあたっての基本的な視点を以下の4つとしました。

子どもの視点

「子どもの権利条約」を尊重し、子どもの幸せを第一に考え、すべての子どもの利益が最大限に尊重されるように配慮するとともに、常に子どもの声に耳を傾け、子どもの心に寄り添いながら支援を行います。

また、子どもが自分の考えなどを自由に表したり、さまざまな活動に参加したりするなど、子どもが主体的に活動できるようなしくみづくりに努めます。

地域全体で子育てを支援する視点

親が子育てについての責任を有するという基本的認識の下に、子育て家庭が抱える不安や悩みを軽減し、親として子育ての喜びや幸せを感じながら、ゆとりをもって子育てができるように、地域全体で子育て家庭を見守り支援します。ここでの子育て支援とは、子どもの最善の利益を考慮し、「子育てを通して、子どもとともに、親自身が“親”として育つように支援すること」、「安全で安心して、子どもを生み、育てられる社会環境づくりを進めること」です。

すべての子育て家庭に対する視点

子どもを生み、子育てするすべての家庭に対して、子どもの成長や家庭状況に応じ、必要となる支援を切れ目なく行います。また、子育てと仕事との両立の支援も行います。

男女共同参画社会づくりの視点

本市では、平成21年12月に「男女共同参画推進条例」を制定しました。男女が互いに人権を尊重しつつ、あらゆる分野で性別にかかわらず、一人ひとりが自立して個性と能力を十分に発揮し連帯できる地域社会づくりが求められています。子育てにおいては、固定的な性別役割分担意識をなくし、男女の職業生活と家庭・地域生活の両立を支援します。